

# 関西外国語大学短期大学部

## 平成17年度第三者評価 機関別評価結果

平成18年3月23日

財団法人 短期大学基準協会

# 関西外国語大学短期大学部

## 評価短期大学の概要

設置者 学校法人 関西外国語大学  
理事長 谷本 貞人  
学 長 谷本 貞人  
A L O 江平 英一  
開設年月日 昭和 28 年 4 月 1 日  
所在地 大阪府枚方市中宮東之町 16 - 1

## 設置学科および入学定員

学科	専攻	入学定員
英米語		1000
国際コミュニケーション		350
		合 計 1350

## 専攻科および入学定員

なし

# 機関別評価結果

## 1. 機関別評価結果

関西外国語大学短期大学部は、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていることから、平成 18 年 3 月 23 日付で適格と認める。

## 2. 機関別評価結果の事由

関西外国語大学短期大学部は、昭和 28 年に開設された関西外国語短期大学を前身に持ち、平成 4 年に現在の名称となった。現在 2 学科、2 キャンパスを有する短期大学である。また、設置母体である学校法人関西外国語大学は、短期大学の他、大学、大学院を有する学校法人である。

当該短期大学は、建学の理念として「国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成」と「公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応えていく実学」を掲げ、教育目的として「学生一人ひとりに将来を展望させ、卒業後の進路への自覚（学習目標）を深めさせる」、「実社会で活躍できる、また大学でより高度で専門性の高い学修に必要な英語力を修得させる」を定め、その教育にあたっている。

平成 17 年 1 月 20 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次の通りである。

建学の理念は、大学案内やウェブサイト等への掲載はもとより、教育の実態にも十分反映されているといえる。教育目的は、各種のガイダンス、学内会議、学内報等によって教職員や学生に対して周知徹底が図られている。また、開学以来、自己点検活動を継続し、教育目標やそれに基づく教育内容を常に見直し、時代に即した改訂を行ってきている。

教育の内容、教育課程については、教育目的に沿った教育体系が整備されており、教養教育と専門教育のバランスもとれ、後者は高い水準にある。教職、司書、秘書士等、免許・資格・称号取得への配慮もなされている。授業改善委員会によって、学生による授業評価やファカルティ・ディベロップメント（FD）研究会が組織的に企画推進され、また科目コーディネーター制度を設ける等、授業改善策がとられている。資格取得に関する取り組みとしては、キャリアセンターを中心にパソコン検定、旅行管理者資格等の受験対策も行っ

ている。編入学希望者が多く、その対応も十分になされており、併設大学への編入学を前提とした留学プログラムが組まれている。

学生支援に関しては、履修ガイダンスが適切に実施され、学習支援のための印刷物等も十分な内容を持っている。プレースメントテストによる習熟度別クラス編成を行い、学生の能力に応じた教育がなされている。学習上の悩みに対しては、クラスカウンセラー制度や教員のオフィスアワー等を設けている。

学生生活支援のための教職員体制も整備されており、奨学金等についても配慮されている。また、健康管理、メンタルケア面での対策、就職支援体制及び進学や留学に対する指導支援体制も整っている。留学生や社会人学生、長期履修生等に対しても門戸を開いており、障害者受入体制も整っている。

研究業績は総じて短期大学として十分な実績といえる。個人研究費、研究室、研究日等の設定、研究に相応しい環境は十分整えられている。研究成果の発表媒体として「研究論集」を刊行しており、電子化してネットワーク上でも公開している。

社会的活動として、公開講座や 5 大学との共同開催である「枚方市民大学講座」の双方で、年間多くの受講者を集めている。また、ボランティア活動については、地方自治体等から講師を招き、学生の参加のモチベーション高揚に努めている。国際交流として、50 カ国・地域、283 大学とネットワークを結び、留学生派遣のみならず、留学生別科に 43 カ国・地域の 235 大学から学生を受け入れており、また海外からの招聘教員も 10 名以上常駐している。

管理運営については、理事長・学長は強力なリーダーシップを発揮しており、理事会、監事、評議員会は寄附行為に則り適正に機能していると認められる。教授会も学則に従って適正に運営されている。各種委員会組織やその規程類も十分整備されており、各々の規程に基づき適切に運営されていると認められる。事務組織は教学と連携して有効に機能している。

財務に関しては、5 年間の中期計画を立て、年間事業計画の基礎としている。事業計画、予算の執行、予実算管理、決算報告、監事の監査、公認会計士による監査等は、適正な手順で公正に行われている。財務諸表は私立学校法の改正を受けて「関西外大通信」やウェブサイト等に公開されている。資金収支、消費収支ともに十分安定を保っており、さらに余裕資金は将来計画を見込んだ目的別引当資産化されている。貸借対照表も健全に推移していて財政的な不安定要素は見られない。

中宮、穂谷両キャンパスとも、学生の視点に立った極めて魅力的な環境を備え、設備面でも充実している。施設・設備の管理も諸規程に則り適正に実施されている。

自己点検・評価の実施体制としては、開学当初から「健康診断」という思想のもとに、自己点検・評価を実行し、たゆまぬ改善・改革を続けてきた。短期大学部では平成 4 年に「自己点検・自己評価実施要項」を制定し、「自己点検評価委員会」、「専門別委員会」を設け、積極的に活動している。

### 3. 優れている点及び向上・充実のための課題

#### (1) 優れていると判断される事項

評価領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

- ・ 短期大学教育を「ファーストステージ」と位置づけ、就職支援中心から脱却して、四年制大学への編入学にも重点をおき、大きな成果をあげていることは、今後短期大学が歩むべき一つの方向を示唆するものと考えられる。

評価領域 教育の内容

- ・ 多くの科目で習熟度別小クラス制度を採用しており、学生の習熟度に応じた適切な教育がなされている。習熟度の高い学生に対しても、IES プログラム、ESL 特別コース等、能力を最大限に伸ばすための教育施策がとられている。

評価領域 教育の実施体制

- ・ コア・ティーチャー制、科目コーディネーター制等の体制を敷き、教員間の意識の共有化、教育のレベル合わせ等を常時行っている。またオフィスアワーの設定を全教員に課し、学生の指導に心を配っている。

評価領域 学生支援

- ・ 学生数に配慮し、「学生相談室」に専任職員、カウンセラー、心理学担当の教員のほか、心療内科医師等を配している。また、「学生相談支援ネットワーク」を設置し、学生相談室に持ち込まれたさまざまな相談に対して、最も適切な部署が迅速に対処できるようにしている。

評価領域 研究

- ・ 一般的な学術研究のほかに、入学前学習用教材の共同開発、多読用ライブラリー活用のための研究、e-ラーニングシステム活用をはかる研究等、授業方法に関する研究が多くの教員の協力のもとに盛んに行われている。

評価領域 財務

- ・ 中宮キャンパスにおいては、太陽光発電システム、地下共同溝を利用したクール&ヒートチューブシステムや自然採光の利用による照明電力の節約等環境と省エネルギーへの配慮が行き届いている。

## **( 2 ) 向上・充実のための課題**

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

- ・ 就職先等からの卒業生評価を客観的かつ系統的に聴取する取り組みが望まれる。

評価領域 改革・改善

- ・ 活発な自己点検・評価活動が展開されているが、それが報告書という形で毎年まとめられていないので定期的に刊行することが望まれる。

## **( 3 ) 早急に改善を要すると判断される事項**

なし